

観光・都市整備

問 必須との意気込みで推進しているホテル誘致について、数値目標を掲げてはどうか。

答 (市長) 予算をかけて調査し、必ず獲得しなければならない課題です。目標をしっかりと設定したいと思います。 **修正②**



問 鵜野飛行場跡地周辺整備における、記念館や道の駅の建設予定はいつか。

答 都市再生整備事業の5カ年計画には入っていませんが、国道372号線バイパスの開通時期に合わせて施設をオープンできるように計画していきたいと考えています。

環境・水道

問 再生可能エネルギーの活用と地産地消について。

答 まず、太陽光発電を促進した上で、蓄電池をセットにして、夜間電力を日中に使用するシステムを一般家庭においても推進していきたいと考えています。



問 市川町からの送水管が老朽化していることについて。

答 ①老朽した設備の更新費用と、②鴨谷町に建設予定の配水池やそれに伴う送水管の新設費用を比較したところ、①市川町関連の更新費用の方が高つくという試算が出ているため、配水池を新設する計画で事業を進めていきます。



介護・健康・医療

問 在宅医療や在宅介護を進めるといふ国の方針のなか、今後の地域での医療・介護のあり方として、「地域包括ケアシステム」について、加西市においても介護事業計画への明記や、医療を含めた議論が行われてきたところだが、これらに全く触れられていない。追加すべきではないか。

答 地域包括ケアシステムの構築に向けての取り組みを明確にする方が分かりやすいため修正します。 **修正③**

問 特定健診・がん検診の受診率向上に向けて、キャンペーンなどが必要ではないか。

答 平成27年度に老人クラブ連合会と連携して実施した未受診者への戸別訪問(国保加入者・5地区)が、特定健診の受診者増につながっており、今後もこの取り組みを拡大していきたいと考えています。



問 国の医療政策や介護政策の変化により、急性期病院としての機能を目指してきた病院の方向性について、大きな転換を迫られたことに対して言及しないのか。

答 医療制度改革や病床機能の再編、地域包括ケアシステム等の医療を取り巻く問題などについては、平成28年度に新病院改革プランを策定する中で考えているところです。

教育

問 小中連携の具体策について。

答 小中連携推進プランを策定し、「学習指導」「児童生徒理解・生徒指導」などの5つの観点から合同授業や合同行事などを実施しており、今後回数を増やしていくことや、9年間のカリキュラムを策定して推進することを考えています。



問 校内研修の方法について。

答 各学校において児童生徒の実態や課題に応じた研修を行っているところですが、今後、県の「スーパーティーチャー制度」によるベテラン教員や、教育委員会の指導主事に学校に入っただきながら、研修指導や助言をしていきたいと考えています。



問 平成27年度に市内の全小中学校において耐震化が完了しているにもかかわらず、「早期に耐震化工事を行う」との記述は、整合性が取れていないのではないかと。

答 前倒し等により事業が完了しているため、項目を削除します。 **修正④**

本会議最終日に、4点 **修正①～④** について修正された案が再度上程され、全会一致で可決となりました。